

## 自動走行車による解決可能な行政課題について

- 実証エリアにおいて、自動走行車を活用することにより解決できる行政課題についてご記入ください。
- 交通不便地対策、高齢者対策など複数テーマがある場合は、それぞれご記入ください。

市町村名 みよし市

担当課・担当者氏名 企画政策課 芳村 達史

連絡先 0561-32-8005

テーマ 高齢者対策、交通不便地対策

今回のルートは、市全体から見ても東西軸の公共交通空白地となっている。東側発着地であるみよし市明知町は、旧来からある既存集落であり地区全体としては高齢化率が25%となっているが、その中を見ると場所によっては40%を超えている。また、地区内をコミュニティバスが運行しているものの、自家用車であれば市民病院まで5分程度のところを20分程度の時間がかかっている。今後、高齢化率がますます高まる事が予想され、また、全国的な高齢者による自動車事故の増加状況を鑑みると、自動走行車を活用する事で地域のニーズを満足させ安全・安心を提供する事ができる。

西側発着地であるみよし市三好町の北側は、平成7年に区画整理が完了した地区であり、若い年代が多い地区となっているが、自家用車であれば市民病院まで3分程度のところを10分程度の時間がかかっている。また、この地区の西側には集客力がある三貴フラワーセンターがあるものの、南部地区東西軸の公共交通がないため、南部地区の市民は中部地区で公共交通を乗り換える必要がある。自動走行車を活用する事でニーズを満足させ安全・安心を提供する事ができる。

## 自動走行車の実験走行ルートについて（複数ルート提示も可）

1 区間（出発地点→到着地点）

みよし市明知町細口浦地内（細口公園）⇒みよし市三好町八和田山地内（みよし市民病院）⇒みよし市三好町植松下地内（西部地区コミュニティ広場）

2 地理条件（バスルートの有無、地域の状況を記入）

一部コミュニティバスルートと重複あり（500m程度）

高齢化が進んでいる既存集落（約1,000人；高齢化率25%）から市民病院を経由し、平成7年度に区画整理が完了した住宅街（約5,000人；高齢化率18%）を結ぶルート

3 道路条件（参考の「2 道路条件」について記入）

走行ルート3.5km、白線あり、片道1車線、全線歩車道分離、歩行者ほとんどなし、信号交差点以外での車の流入少ない、トンネル区間なし

4 その他（参考の「3 その他」について記入）

トヨタ自動車下山工場、明知工場を結ぶ路線でもあり産官連携で協力の可能性あり。待機場所、経由場所ともに市有地であり協力可能。

5 走行ルート（地図）